

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
出雲崎町	上地区（船橋・稲川・田中・市野坪・豊橋・常楽寺・小木・相田）	令和3年3月31日	年 月 日

1. 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	93.6ha
②アンケート調査等に回答した地区内の耕作者の耕作面積の合計	90.7ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	13.8ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	12.3ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	5ha
(備考) アンケート結果より	
・すべての集落において、7割以上が後継者不足を感じている。	

注1：③の「70歳以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載。

注2：④の面積は、アンケート結果の合計から面積を記載。

2. 対象地区の課題

70歳以上で後継者未定の農業者面積について、今後中心経営体が引き受ける意向のある面積よりも多く、後継者不足が課題である。

3. 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>船橋集落の農地利用は、現在耕作を行っている農業者が継続して担っていき、耕作継続が難しい状況に陥りそうな場合には、中心経営体である認定農業者が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。</p>
<p>稲川集落の農地利用は、集落内認定農業者が中心になって担っていき、近隣集落の認定農業者との集落営農等協同作業の協議を促進し、未整備の周辺耕作地整備を推進して対応していく。</p>
<p>田中集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。</p>
<p>市野坪集落の農地利用は、現在耕作を行っている農業者が継続して担っていき、高齢の入作者 2 名の水田は、中心経営体である青年就農者が担うほか、これ以外の集落住民での耕作地は、50 代の 2 名が協力していくことにより対応していく。</p>
<p>豊橋集落の農地利用は、現在耕作を行っている農業者が継続して担っていき、耕作継続が難しい状況に陥りそうな場合には、中心経営体である認定農業者が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。</p>
<p>常楽寺集落の農地利用は、現在耕作を行っている農業者が継続して担っていき、数年後には若い農業者へ委ねていく。委ねる際、ある程度の休耕地を伴い、また耕作地の調整を行い、作業の効率化を図っていく。</p>
<p>小木集落の農地利用は、現在耕作を行っている農業者が継続して担っていき、耕作継続が難しい状況に陥りそうな場合には、中心経営体である認定農業者が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。</p>
<p>相田集落の農地利用は、現在耕作を行っている農業者が継続して担っていき、耕作継続が難しい状況に陥りそうな場合には、中心経営体である認定農業者が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。</p>